

会員とセンターをつなぐ広報誌

生きがい王子

第113号 2021年 新年号

編集・発行



公益社団法人
八王子市シルバー人材センター

〒192-0062 八王子市大横町 11-35

TEL 042(626)1274

FAX 042(626)5159

✉ hachioji-sc@sjc.ne.jp

H.P. <https://hachioji-sjc.org>

八王子市シルバー人材センター

検索



謹賀新年

本号掲載ページ

- 2P 新年のご挨拶
- 3P 年頭のご挨拶
- 4P 常任委員会より
- 5P 職種班だより
- 6P 地域だより
- 7P 会員だより
- 8P 会員だより他

あけましておめでとう ございます



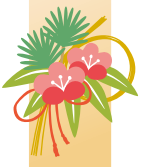
新年のご挨拶



八王子市長

八王子市シルバー人材センター名誉会長

石森 孝志 たかゆき



八王子市シルバー人材センター会員の皆様、あけましておめでとうございます。健やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

我が国では平均寿命の延伸に伴い高齢者人口が増加する中、人生100年時代、生涯現役社会が提唱されるなど、高齢者を取り巻く社会環境は大きく変化しております。本市においても高齢者人口が約15万人に達し、今後も少子高齢化が進んでいく中で、豊かな地域の担い手として高齢者の皆様への期待が益々大きくなっております。

こうした中、昨年4月の改正労働者派遣法において「同一労働同一賃金」が掲げられたことや、適正就業を推進



八王子市シルバー人材センター会長

高部 勇

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症禍の影響で満足な活動が出来ず、悔いを残す年になってしまいました。

業績では、収入は前年を超えることができませんが、会員数では増加拡大の傾向にあります。これも会員、事務局、役員（三位一体）の努力と関係者方々のご支援ご協力の賜物と感謝して居ります。

本年もより一層の進展を目指して会員一同一丸となつ

して行くにあたり、これまで請負就労が中心であった本市の公共事業においても、就労実態に合わせて派遣就労の導入を進めております。派遣就労は雇用先から直接指示を受ける就業形態となるため、会員のみなさまの経験や能力、意欲がより発揮されやすいメリットがあります。

また、本市では、生涯現役社会の実現に向け、その方針を示す「八王子市高齢者計画・第8期介護保険事業計画」の策定を進めております。高齢者の皆様が、いつまでも望む生活を送ることが出来る生涯現役のまちづくりに向け、これからも全力で取り組んで参ります。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う新たな就労形式への御協力に感謝するとともに、今後も望む限り働くことができ、高齢者の貴重な経験を活かせる社会の実現に向け、貴センターの御活躍を大いに期待しております。

結びに、貴センターの益々の御発展と、会員の皆様のご健勝並びにご多幸を心から祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

て事業に取組んで参りますので一層のご協力をお願い申し上げます。

なお、コロナの収束、オリ・パラリンピック開催、等々元氣を取り戻し健康で素晴らしい年になりますよう、祈念いたします。



山梨県南巨摩郡

年頭のご挨拶

常務理事 水野 裕

新年明けましておめでと
うございます。謹んで新年
のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感
染拡大の影響により自粛を強
いられたり、新しい生活様
式への対応など、私たちが
経験したことのない一年で
あったと思います。そのよ
うな状況の中で、当セン
ターは、会員の皆様お一人
お一人のご尽力・ご協力の
おかげで、着実に変革を形
にすることができ、大きく

歩を進めることが出来まし
た。改めて感謝申し上げます。

本年4月、「企業に対し
て70歳までの就業機会の確
保を努力義務とする」内
容の「改正高年齢者雇用
安定法」が施行されます。
このことにより、今後さら
に新入会員の高年齢化や、
就業内容の限定化など様々
な課題が生じ、難しい舵取
りが求められます。解決に
向け前例に囚われず新時代
に即した変革の事業展開を
してまいりたいと思いま
す。具体的には、年々増加
している女性会員を中心と

事務局長 廣瀬 和宏
あけましておめでとござ
います。


まずは、2020年度事
務局体制の変化について報
告します。4月から事務局
長代理として、八王子市
役所OBの東さんが着任し
ました。公共事業が増えて
いるので、期待することは
多くなるでしょう。

正規職員は、昨年1月か
ら新たに加わった津島主事

は広報担当、山口主事は
派遣担当としての業務を中
心に関わっているほか職場
に溶け込み明るい雰囲気づ
くりに貢献しています。ま
た、臨時職員2名が嘱託
職員となり、刃物研ぎ班、
筆耕班、家事援助、清掃
業務など需要が多くなっ
ている業務の担当をしてい
ます。

なお、嘱託職員1名が退
職されたため、派遣職員を

した就業職種の開拓拡大を
会員自ら考え検討し挑戦
をしています。また、将来
を展望し安定した組織運
営のための方策も検討しな
ければなりません。まさに、

「自主・自立、共働・共助」
の理念に基づく行動をダイ
ナミックに展開して参りま
しょう！シルバー人材セ
ンターの果たす役割や社会
的使命は、このような時代
であればあるほど、今後一
層高まるものと考えていま
す。
会員の皆様！モー（)
つと共々に「高齢」を「幸齢」
へと転換する一年に！

1名増員し、事務に支障が
ない体制を敷いています。

さて、一昨年末から世界
中に広がっているコロナウ
イルスにより、当シルバ
ー人材センターも運営には大
きな影響を受けており、感
染防止対策には大変苦慮し
ております。

月初めの就業報告書提
出も郵送やポストへの投函
をお願いしております。

コロナ感染拡大が収束す

るまでは、自己防衛による
防止策も必要です。

入会説明会は、3月～5
月までの間、開催できず、
一時は300名越えの待機
者を出す状況にもなりまし
たが、6月より三密を避け、
東部交流室も会場として使
用し、新入会員の入会が
途絶えないよう努めてきま
した。9月になりようやく、
就業の再開や、新たな就業
機会の提供ができるようにな
りました。

10月25日に実施した浅
川河川敷清掃ボランティア
には会員と緒に4名の事
務局職員が参加しました。
センターの市民への周知

については、市役所来庁者
用封筒への広報印刷や市ご
み収集指定袋への広告掲
載、バスの車内広告シール
貼付、JR八王子駅北口マ
ルベリーブリッジに横断幕
掲示、市役所正面玄関案
内板への掲示を行い、会員
増強、就業機会の確保・
拡大が滞ることのないよう
努めております。

令和3年がシルバー人材
センター会員のみなさまに
とって明るく笑顔が絶える

ことのない一年となること
を祈念して事務局からの報
告とさせていただきます。

浅川清掃

ボランティアに参加して

事務局 津島主事

昨年10月25日に浅川河
川敷清掃ボランティアに広
報担当として参加させてい
ただきました。本来なら年
間を通してたくさんイベ
ントがあり、皆さんとご一
緒できる機会も多かっただ
ろうと思います。

残念ながら新型コロナウイルス
イルスの影響で多くのイベ
ントが中止となるなか、と
ても貴重な時間を経験させ
ていただきました。

企画に動いてくださった
皆さま、当日参加いただい
た皆さま、ありがとうございました。

本年もイベントの開催は
未知数なところではありま
すが、積極的に参加させて
いただきたいと思います。
どうぞよろしく願いた
します。



常任委員会より①

〔1〕 総務委員会

昨年は異例づくめのスタートであった。でもコロナ禍で活動できない状況だからこそシルバーの根本的な見直しをじっくり考え、提案して行こうと総務委員が知恵を出し合って検討をしています。

①会費改定に道筋をつける
②役員報酬のあり方
③増え続ける空き家対策に仕事として関わり、シルバーの中に専属班を立ち上げる
④会員＋アルファの知識向上に『知るセミ』の企画
⑤コロナ禍でも工夫した総会で会員相互の連帯を高める

今までの良かった点を生かしながら、引きずってはならない問題は解決に向けて取り組んでいる総務委員会です。皆様が八王子市シルバー人材センターの会員で良かった

と実感できるよう努力中です。

〔2〕 業務委員会

業務委員会は、6地区の理事と7職種班・2職種から15人の委員で構成され、毎月第2火曜日に開催し熱心に討議しています。

シルバー人材センターは、今後も連綿として続く組織として各職種の就業を確保していく必要があります。その為、各職種とも後継者の育成と技術の継承が必要です。これは、大切なことですが職種ごとの特性もあり一様ではありません。各職種の取り組みを意見交換・議論し、それぞれ良いものを作り上げていきたいと思っています。

現在、7職種班は次の通りです。「植木班・除草班・筆耕班・表装班・配布班・パソコン班・刃物研ぎ班」。会員が職種班に関わる就業に就くためには、まず職種班に入会する必要があります。

自分の得意な職種、興味のある職種があったら是非職種班に入会してください。

また、現在職種班所属で長年にわたり当該職種の維持発展に功労のあった会員の表彰も検討しています。これも職種班を盛り上げ活性化するための方策です。

〔3〕 広報委員会

昨年は、コロナ禍の影響で予定していた内外の行事が全中止となり大変な一年となりました。今年度は、参加する行事には今まで以上に楽しく喜んでもらえる様、内容を吟味工夫する。

目標

- ①ホームページ充実
- ②毎月発行の「おおるり」内容の迅速性
- ③年2回発行の「生きがい八王子」により多くの会員皆様の近況を！



〔4〕 地域委員会

地域委員会は、地域班活動の活性化に向け、班長・副班長を中心に「共働・共助」の精神のもと、各会員とのコンタクトを取り合い会員相互のコミュニケーションをどう深めていくか等を討議しています。

その手づるとして、従来は未就業会員宅へセンター情報のお届けの際の対話や地区毎に開催する懇談会での情報共有化、また、その際に実施して

いた既に活動中の会員と新入会員間による就業などに関する対話を通じて仲間意識の醸成を図ってまいりました。

しかし、今日のインターネット環境下で、センター情報の入手手段も多様化しており、各会員とのコミュニケーションの取り方は従来にも増して充実して行く事が求められている事から、より良い交流手段を討議しております。

また仲間意識の醸成だけでなく、センター活動を広く市民に訴える事にもなるボランティア活動を地域委員会が活動の軸となつて進めて来ました。コロナ禍などの影響により会員間のコミュニケーションが密にできない事や、各種イベントの中止等でボランティアも昨年は、浅川清掃が唯一の活動になってしまいました。従来5地区体制から6地区体制へ移行した成果を追求しつつ会員相互の交流を深めて行く活動を進めてまいります。

常任委員会より②

〔5〕安全管理委員会

令和3年は、安全管理委員会として心新たに「高齢者の生きがいと社会参加」を念頭に会員皆様の「損害事故、物損事故、更にその延長線上の死亡事故」を撲滅すべく「安全はすべてに優先する」をモットーとして安全活動を進めてまいります。

- ①事故ゼロ、死亡事故、重篤事故の発生防止
- ②安全就業の為の会員全員参加による意識・認識の醸成
- ③安全就業基準、作業別安全就業基準の順守徹底の推進、定着を皆様と一緒に推進して参りますので宜しくお願いいたします。

〔6〕女性委員会

- 令和3年度方針
- ①女性会員の増強と女性会員に適した就業の開

拓、拡大の促進。

- ②保育補助の就業促進、単身者の食事会等「ミニ二ヶーション」に繋がる企画の実施。
- ③家事援助サービスマ事業の促進と地域社会への貢献。
- ④資質向上を図るため講習会、研修会の開催。
- ⑤イベント・ボランティア活動に参加。シルバー人材センターのPR活動を推進。
- ⑥会員相互の理解度を高め、意見や要望を聞く懇談会の開催。
- ⑦女性ならではの作業、女性向きの作業。

職種班だより

パソコン班(パソコン)

佐々木 喬 (9031)

パソコン班は、SCCの理念である「自主・自立、共働・共助」に則り、班員相互の理解と協力のもとに班員の就業を図り、より豊かなシルバライフ実現のために

職種班の一つとして2014年に設立されて7年目の、まだ新しい班です。パソコンに関する多様なスキルを持った会員の参加を頂き、SCCを支える組織として、生きがいを感じられる活動を目指しています。

パソコン班が取り組んでゆく主な事業としては、パソコン教室、出張教室、お助け隊(トラブル対応)、訪問指導、ホームページ作成・更新、会員向け各種パソコン研修、ボランティア、その他パソコン、タブレット、スマホに関わることと全てです。

何かありましたら是非お問合せください。又、興味をお持ちで、班の方針に賛同頂ける方々の参加をお待ちしております。

小委員会

きさらぎの活動(きさらぎ)

森 光江 (8108)

きさらぎ班は、昨年4月から、小委員会「きさらぎ」となり、役員も6地区になったため12名から17名となりました。6月に任命式が行われ責任を持って行動

して行かなくてはと痛感しております。

一昨年は、記念品づくり、講習会、ここにフェア(工口たわし講習・喫茶)、いちよつ祭り参加等と活動してきました。昨年は新型工口ナの影響で思うように活動する事が出来ませんでした。9月に「やさしい体操」が実施でき、11月には多摩動物公園の散策も行うことが出来ました。小委員会「きさらぎ」として出来ることを皆で考え少しでもより良い方向に向かって行ければと思っております。

筆耕班に入会して得たもの

小林 薫 (9176)

シルバー人材センターに入会した頃の事を振り返りますと、それまで趣味で続けていた書に対する向き合い方が大きく変化しました。それまでの書は、むしろ自分が納得出来ればという思いでしたが、筆耕班での書道教室に於いて先生方に丁寧にご指導頂き、筆耕という仕事に対しての向き合い方を教えて頂き、書は個性ではなく依頼者に納得して

喜んで頂けるかどうかと言うことを学びました。

高尾山浄書、卒業証書、その他表彰状等、その一つでも従事する時、やはり気持ちを含めて丁寧に書かなければと言う思いが自分の中に湧いて来る思いがします。

今では、おおるり、すみれ会という同じ志を持った方々との交流により自分では気付かなかった事も多く得られ、お互い日々研鑽して意識を高め合う事の楽しさ、素晴らしさを感じて居ります。

今年度は、コロナ禍で殆ど活動が自粛で中止になりましたが、なるべく筆を持つ事は習慣づけようと心掛けていました。

筆は思い通りに動いてくれず、縦の線、横の線、今だに一字書くのに苦勞する事も屢々です。

これから仲間の皆様と、日々鍛錬して向上して行きたいと願っています。



地域だより

中部地区の紹介

浅原ユリ子（105508）

中部、東部、北部の合流で5班だった中部が11班の大所帯になりました。大きく変わった事もあり特別に理事3名・地域委員4名配置が許され、いざ活動開始と思いきや会議も話し合う事も出来ず顔合わせも制限されてしまいました。閉塞感が漂う中、「コロナ禍だからこそ強化できる『よこよこ』の連携を強化しよう」と中部ニュースを発行してみました。

第1回は理事と地域委員の『他己紹介』で班長・副班長にお知らせしました。他己紹介は自分の事をこんな風に見ていたのかと、自分を知らず知らずのうちに知っていました。



今回は班長・副班長にスワットを当て自己紹介を兼ねた何でも言いたい放題にします。

感染防止でお互いに顔を合わせる事は出来なくても、身近な情報を発信しようとして努力しています。その成果は浅川河川敷清掃ボランティア参加数になったと思っています。晴天で風もなく暖かな河川敷を久し振りに歩きながらの浅川清掃は大成功でした。楽しく嬉しい一日でした。

コロナ禍による新しい日常

玉田恒久（84200）

昨年9月29日、初めての西部地区会議に班長・副班長が集まり、顔合わせと懇談で当面の問題点を確認いたしました。その中で、センター事務局から毎月郵

送される情報誌や会員資料の取り扱いで一部徹底できていないことが浮き彫りになりました。

学校、町会関連の行事は軒並み中止となり地域活動は皆無状態です。現時点ではとにかく皆さんの健康が第一です。

コロナ禍により新しい日常が模索される中で、大自らの営みは変わらず悠久に流れています。生活の変容を受け入れながら身の回りの事象を見直しつつ西部地区の豊かで身近な自然を楽しみたいと思います。



玉田氏作

広報配布を始めて一年

塚田松雄（103888）

令和元年の秋、前任者が体調を崩したということとで急遽お話をいただき、配布の仕事を始めました。

当時は、今上天皇の即位礼があり2020年東京オリンピック・パラリンピック

の準備が進むなど新たな期待や希望を抱かせるような時期でした。

私の担当は、JRP片倉駅南東徒歩10分圏内で低層住宅・アパートが並び、空き地・空き家も散見される地区です。坂道や段差が多く、またポスト（メールボックス）が道路に面していなかったり階段を昇った所にあたりと万歩計のカウント以上に運動になっていきます。自転車は、都度止めることが多く時間も大して変わらなことが分かり、徒歩で手提げ袋をつ持ち、残りを入れたリュックを、

背負って回ることに落ち着きました。ポストの口（蓋）も渋い型があり、手提げを持った手で口を押してもう一方の手で配布物を差し入れるコツも覚えめました。アパートなどは、転居や入居の頻度も違うので、普段の散歩の時でも自然に目に留めるようになりました。

令和2年は、100年に一度と言われるような新型コロナウイルスの感染拡大により経験したことのない日常となり、大きくうねっ

た1年でしたが、「広報はちおうじ」は、いつも通り発行され「コロナ関連施策の情報も盛り込まれています。現場優先で洩れの無いよう注意を払い、配布の仕事をもう少し続けてみようと思っています。」

地域とのつながり

廣永 覚（10731）

2019年8月に東部交流室がオープンして1年数か月。地区会議、地区懇談会、新入会員研修会、勉強会、職種別打ち合わせ、事務手続き等で利用されております。

2020年のコロナ問題で、外出自粛、自宅待機で人の集まりが制限される状況になり、開催予定行事の地域祭り、ボランティア活動などがほとんど中止になりました。

今後、地域とのつながりを活性化し継続していく為に、三密を避け自己防衛を徹底して、会員の皆様と連携、協働を進めていきたいと思っております。

ご指導ご協力をお願いします。

会員だより

シルバー人材センターに入会したきっかけは

小林清子（10845）

いちよう祭りの日に河原を散歩中シルバー人材センターのブースがあり会員を募っていました。

私にも何か仕事が出来るだろうか？と思いながらその場で申し込みました。それから面談があり暫くして家事援助の仕事を紹介して頂きました。仕事とはいえ他人様の家に入りお掃除する事に緊張感や不安もあり戸惑いの気持ちもありましたが、取り敢えず初日を迎え、お客様と元気に挨拶を交わし、契約内容（掃除機をかける、床や窓ふき、トイレや風呂場の掃除など）を無我夢中でこなしました。数回の訪問後から今の掃除の仕方でのいのだらうか？と思ひながら続けていきましたが、自分に言い聞かせました。「初日に伺った時の気持ちを大切に綺麗に掃除していくしかない！」

こうして3年が過ぎ近頃

は、お客様から「お陰様で週末が気持ちよく過ぎてています。」と有難いお言葉を頂き、とても励みになり仕事を続けていて良かったです！ とやる気も一段と上がりました。

昨夏には、お客様から「この猛暑の中ですからどうぞ無理せず水分を十分取り気を付けてください。」と優しいお心使いに感謝し、自分自身も健康と安全就業に心がけ楽しく仕事を続けております。

最近思うこと

川上晃博（10048）

丹木町に住んでいます、川上晃博と申します。

昨年より、新型コロナウイルス感染症の為、色々な事が起きていますが、我が北部地区の一面を紹介させて頂きます。

我が地域には、幼稚園から大学まで有り乗馬クラブもあります。高いところに目をやると戦国最強の武田信玄さえも落とせなかった、滝山城があり又、高月町には、広い金波輝く稲穂の波が秋のいろどりを増

しています。

地域の方々と交流に接する時、またあの人に会える、あの地域を廻らせて頂くと嬉しさがこみ上げてまわります。シルバー人材センターの仕事を頂き、本当に良かったと思う毎日です。

新型コロナに思うこと

小林慶一（10542）

今回の新型コロナウイルス感染症が世界的に広がり、我が国に於いても、感染を広げない為に我慢し、家を出ない人、苦渋の決断で店を休んだ人、誰もが経験したことのない今を生きております。

シルバー人材センターに於いても、暫くの間は、集団作業に於いては、「三密」を避け、マメな消毒を行うと共に、マスクの着用は、勿論の事、健康管理に注意して今後は、仕事のやり方を工夫して行かなければならないと思います。

例えば、予め各自が仕事を確保する為「単独・集団」の両方共に作業が可能な体制を保持しつつ「パンデミック」時には、即どちらかに対応出来るように最初から考えて置く必要があると考えます。

きさらぎ秋の散策

飯高健夫（8473）

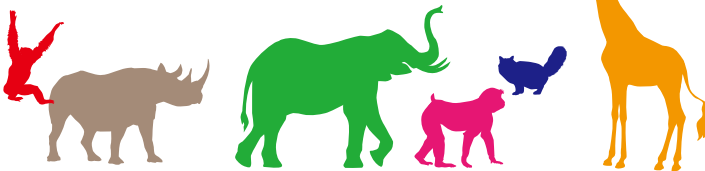
11月13日（金）「きさらぎ」秋の散策で、多摩動物公園に行ってきました。

集合時間に決められた京

王八王子駅に行くと、笑顔が素敵な御婦人達が皆さん集まっておりました。

動物園に着くと、アフリカ園・オーストラリア園・アジア園等々、キリン・象・日本猿・タヌキ等々、色々な動物を見て、楽しい一日を過ごして動物園を後にしました。

責任者の西山さん始め役員の方々、大変にありがとうございました。次回も元気でお会いすることを楽しみに家路に向かいました。



今年も仲間と

元気に過ごす

横川淳一 (80265)

新年あけましておめでとございます。

仲間の皆様、今年もシルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」を念頭に元気に良き齢を重ねていきましょう。

私の所属する東南部地区は、昨年4月から従来の東部と南部の一部エリアを合体し発足した地区(昨年9月時会員数355名)で、住民数は市統計を見ると市総人口約56・2万人に対し8・2万人と人口比率は約14・5%、エリアの広さは市全域の約7・7%で市内の内でも比較的新しい地域だと思います。

従って今後さらに発展が期待できる街であることから、センターへの就業依頼や会員の伸びる事を信じ、それを見届けるまではシルバーで仲間の会員と元気に過ごそうと思っております。

苦勞苦勞の百八段

西山正子 (7613)

2019年2月高尾山健康登山第百冊(2100回)萬行することができました。

九年半かかりました。想い出しましてもよく毎日歩いたものです。若かったのですネ。

皆さんのおかげです。楽しかったです。



薬王院朱印所に飾られた満行記念札



事務局より

「コロナ禍における事務所対応や行事、イベント等、毎月の「おおるり」に掲載しておりますのでご確認をお願いいたします。「おおるり」はバックナンバーも含めてホームページで閲覧が可能です。インターネットの環境がない方には毎月郵送いたします。

編集後記 広報委員会

令和3年あけましておめでとございます。

昨年は、年初より今まで経験したことのない新型コロナウイルスで大変でした。

今年こそは、1年を笑顔で過ごしたいと思えます。



2月 知るセミ「終活について」



2月 夢街道駅伝ボランティア



7月 班長副班長任命式



10月 浅川河川敷清掃ボランティア



10月 八王子駅北口横断幕掲示開始



12月 表紙オフショット